

S&Pによるスペインの格下げと今後の見通しについて

大和証券投資信託委託株式会社

スタンダード・アンド・プアーズ(S & P)は4月28日(現地)、スペインの格付けを「AA+」から「AA」に引き下げ、見通し「ネガティブ」を継続しました。格付け各社の見解と今後の見通しは以下の通りです。

S&P : AA /ネガティブ

4月28日、「AA+」から「AA」に格下げ、見通し「ネガティブ」を継続

S&Pはコメントで、中期的な経済見通しの変更およびスペインの財政状況が予想以上に悪化していることを格下げの理由とした。また、財政状況がさらに悪化すれば格下げの可能性があるとする一方で、2010年、2011年と財政状況が予定通り進めば、見通しを「安定的」とする可能性があるとした。

(今後の見通し)

S&Pが中期的な経済見通しのファクターの一つにあげている金融セクターに関しては、報道ではかなり損失を抱えているとの話が出ており、地域金融機関の損失計上に伴う、さらなる格下げの可能性は残りません。

ムーディーズ : Aaa /安定的

4月15日付けCredit Opinionにおいて、スペイン経済は金融危機で大きな影響を受けたが、この状況が永久的に続くわけではない。また、2013年までにGDP比の財政赤字が3%を下回る可能性は低いとみているが、数年後には達成可能とみていることを「Aaa/安定的」の理由としている。

(今後の見通し)

ムーディーズは定性面、定量面の両面において、格下げの可能性はかなり低いと考えているようで、急激な環境変化がない限り当面の格下げリスクは低いでしょう。

フィッチ : AAA /安定的

1月29日の欧州ソブリン見通しにおいて、金融システム、製造業を評価する一方で、税収減、労働市場を懸念材料とあげている。

(今後の見通し)

フィッチの場合には、市場の動きと格付けが連動しやすい上、今のところポジティブ材料にあげている金融業界において損失計上が増加してくれば、格下げの可能性は高まるでしょう。

今後数年の財政状況や金融機関の損失の度合いによっては、さらなる格下げ、格下げリスクの高まりが今後も継続する可能性は否定できません。ただし、あくまでAAA格、AA格という非常に高い格付けにおける格下げや格下げリスクの高まりであり、短期的に債務返済の安全性に対する懸念が高まっている訳ではないと考えます。

以上

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会